

いきいき健康術 第137回

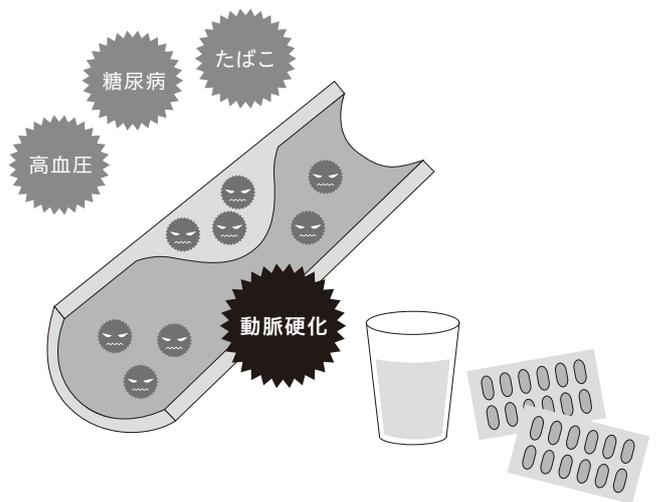
町立病院・診療所の医師や専門職員が
健康情報をお届けします。

『もうコレステロールで悩まない!』

ほしの あつし
星野 温 医師 国保京丹波町病院
(毎週火曜日の内科一般外来担当)
専門：循環器内科



コレステロールは高血圧、糖尿病、たばことともに動脈硬化の4大危険因子です。検診でコレステロール値が高いと言われた事がある方も少なくないと思います。また実際に内服治療をしているけれど値が下がらずに困っている方もおられるでしょう。このコレステロールの治療にはこれまで2つの大きな革新がありました。



1 つ目は1980年代後半に開発されたスタチンと呼ばれる薬です。

スタチンはコレステロール値を劇的に改善した最初の薬で多くの心筋梗塞の患者を救いました。そして今日においてもコレステロールの標準的治療薬です。さらにこのスタチンを世界で最初に開発したのは日本人の遠藤章^{えん どうあきら}さんで、毎年ノーベル賞の時期になると候補者として名前が挙がります。

2 つ目の革新は2016年に販売されたPCSK9阻害薬です。

この薬は効果もすごいですが開発の経緯も従来と異なります。実は以前からコレステロール値が低く

て心筋梗塞にならない人がいる事がわかっていました。その後、遺伝子の解読技術の発展によりPCSK9という遺伝子の変異が原因である事がわかりました。現代の飽食時代においては優良遺伝子と言えるかもしれません。そのためPCSK9を阻害する抗体製剤が開発され、従来にない効果を発揮しました。現在では心筋梗塞や狭心症の患者さんでコレステロール値が十分に下がらない方や遺伝的にコレステロールが高い人にはこの新しい薬が推奨されています。「これ、私に当てはまるかも?」と思われた方はお近くの循環器内科で相談してみてください。